

20090723_連邦交通省-01

ロート政務次官談話:アウトバーン A8 号線に更なる安全を 連邦アウトバーン A8 号線アウグスブルク～ミュンヘン間の運営モデルの最初の改築区間を 6 車線に

掲載日	2009 年 7 月 23 日
国名	ドイツ
分類番号	維持改良
出典	連邦交通省
タイトル	Roth: Mehr Sicherheit auf der A 8 1. Ausbauabschnitt des Betreibermodells auf der BAB A 8 Augsburg-München sechsstreifig unter Verkehr

今日、バイエルン州のアウトバーン A8 号線における、ドイツ連邦で最初の官民協働アウトバーン・プロジェクトの一部が開通の段階に達した。4 車線から 6 車線に拡張されたパルスヴァイス～ズルトツェモース間の通行が、近日中に開始される。

「これで、連邦アウトバーン事業の分野において、全国初の営業権委託事業(コンセッション)という里程標がまたひとつ築かれました。」と、カリン・ロート連邦交通省政務次官は語った。

「この営業権委託事業では、1 日の最高交通量が 10 万台と往来の激しいアウグスブルク～ミュンヘン間の 4 車線の連邦アウトバーンが、約 37km にわたって路肩付きの 6 車線に拡張されます。営業権を落札した業者は、官民協働の枠内で合計約 52km の区間を 30 年間にわたって保全・運営する義務を負います。」

「この拡張工事は実質的には 2010 年末までに完了する予定です。これが完了すれば、これと直に接続するアウトバーン A8 号線のウルム～アウグスブルク間の拡張工事に、引き続き——ただし現在処理中の業務委託手続きの完了を前提条件としてですが——着手することができるようになります。これを目標に、バイエルンにおける 2 つ目の官民協働の連邦遠距離道路プロジェクトが早くも推進されていくでしょう。」と、カリーン・ロート氏は展望を語った。

「重要なことは、プロジェクトの遂行で集積された経験を、官民共同プロジェクトの更なる発展に結び付けていくことです」と、ロート氏は続けた。

連邦政府は、建築物のライフサイクルを考慮に入れ、そのことにより重要なプロセスの最善化を図れるような、交通インフラ全体の配置・調達の継続的発展と同様、この方向性を徹底して追求していくという。

ティーフェンゼー大臣は2008年夏、合計8本のプロジェクトから成り、工事・建設費総額15億ユーロの、一連の新たな官民共同プロジェクトを発表している。

写真の註:「官民協働プロジェクトのおかげでアウトバーン上の隘路が減る」